

III 地球に良いこと^もしよう

1 グリーンエネルギー技術の開発支援による低炭素社会の実現

現状と課題

環境保護の取り組みや新・省エネルギーの技術開発が進められ、増大する需要をビジネスチャンスととらえる産業・企業が増えつつあります。多面的なサイドからの環境対策が非常に重要になっています。

政策と実績等

● 環境率先行動計画の着実な実施

- ・ステップ4の取組（温室効果ガス排出量H21比6.8%以上削減・H23～H27まで）

年度	H23	H24	H26（目標）
H21比削減率	0.4%	2.1%	5.4%

● 木質バイオマス施設建設をハード・ソフト両面から支援（チップボイラーバイオガス施設導入支援）

● CO₂見える化事業の実施（家庭エコ診断）

- ・専門知識を有する診断士が、家庭の「どこから」「どれだけ」CO₂を排出しているかをわかりやすく示し、各家庭のライフスタイルに合わせたCO₂削減・省エネ対策を提案

年度	H23	H24	H25	H26（目標）
診断件数	915件	1,019件	803件	1,000件

● 自然エネルギーを有望な資源と位置づけ技術開発を強力支援

- ・環境・エネルギー産業における実用化開発への資金支援に向けた投融資件数毎年1件 ▶▶▶ **実現**

● 間伐材林地残材の有効利用（燃料化、家畜敷材化、バイオエタノールなど）



● 環境学習・教育の総合的推進

- ・いえしま自然体験センター、兎和野高原野外教育センター（青少年の生きる力の育み）、ひょうご環境体験館（はりまエコハウス）の活用

年度	H23	H24	H25	H26（目標）
いえしま自然体験センター利用者数	27,718人	27,779人	28,851人	29,100人
兎和野高原野外教育センター利用者数	81,000人	82,782人	80,342人	83,500人
ひょうご環境体験館利用者数	73,809人	102,081人	130,384人	161,000人

- ・県内全幼稚園、認可保育所での体験型環境学習「ひょうごっこグリーンガーデン実践事業」の実施

年度	H23	H24
実施園数	1,274園	1,576園

● メガワット級ソーラー発電施設の整備

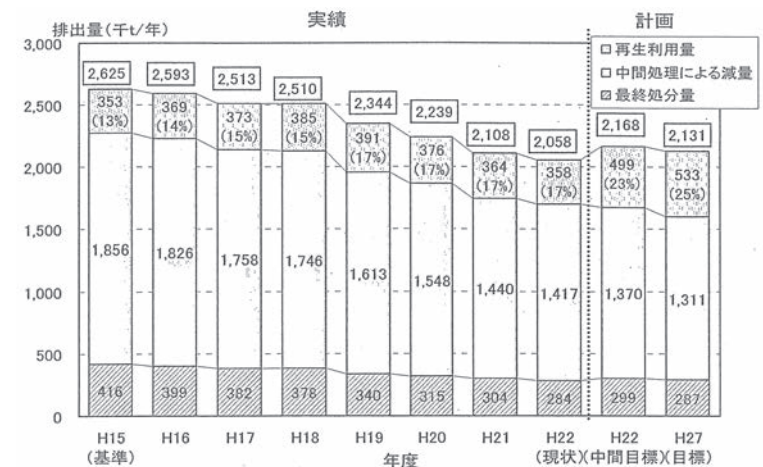
● 省エネ家電や省エネ行動等の普及促進

- ・CO₂削減効果のある商品・サービス購入者にポイント付与

▶▶▶ **H23年度から関西広域連合の7府県及び奈良県で実施**

● 広域的なりサイクル拠点の整備

● 廃棄物の再生利用・処分量の推移



2 木質バイオマスの推進



現状と課題

化石燃料の限界が見える中で、自然に優しいエネルギー開発が問われています。木材を活用したエネルギーの創出が大切です。



政策と実績等

- 木の多様な利用促進（建築材、集成材、燃料用、エタノール、電気化、家畜敷材）
- 化石燃料の代替エネルギーとして木材を活用（チップ、ペレット、エタノール等）

新潟県バイオマス総合利用計画

区分	主な利活用	賦存量 (炭素量 (トン))	利用量	適正処理率		
				現在 (H22)	中間目標 (H27)	目標 (H32)
木質系 廃棄物	パルプ 燃料 (チップ) たい肥	165,905	132,719	80%	87%	93%
未利用系 間伐材	建築資材 燃料 (ペレット・チップ等) パルプ	69,155	24,304	35%	70%	75%

- 先導的なバイオマス利活用の取り組みとバイオマス利活用の情報提供など普及啓発

- ひょうごバイオマスecoモデル登録状況

年 度	H23	H24	H25	H26 (目標)
登録件数 (累積)	52件	55件	56件	54件

- バイオマス利活用事例集の作成
- 農のゼロエミッション推進大会の開催

- 木質バイオマスの利活用を進めています



- 県産木材を土台に使用した太陽光パネル



3 野生動物の適正管理



現状と課題

シカなど有害鳥獣の被害は、本県では、24年度 8 億円、シカだけで 3 億 6,000 万円との統計があります。

捕獲対策と共に共生による適正管理が急がれます。



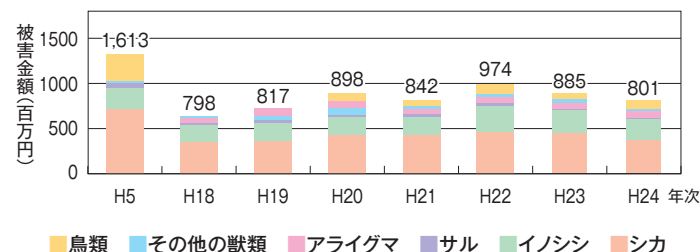
政策と実績等

- 鳥獣被害の半減化と共済制度の創設
- シカ柵など防護柵（金網柵・電気柵）の増設支援
- シカ 3 万頭捕獲対策の推進（平成 25 年度からは 3 万 5 千頭）

年度	H23	H24	H25	H26 (目標)
捕獲頭数	34,884頭	31,835頭	35,000頭	35,000頭

- シカ肉・革の流通体制の確立による有効利用と狩猟関連法令の改正
 - ▶▶▶シカ肉フェア（シンポジウム、試食会、展示会、料理コンテスト等）、調理技術講習会、レシピ開発等を通じたシカ肉等の需要拡大
- シカ肉貯蔵技術の確立と販売経路を整備し、食品利用を推進（燻製、コロケ、カレー、ペットフードなど）

● 野生鳥獣による農林業被害の推移



- 奥地の広葉樹林造成、里山の混交林化、バッファゾーンの整備

年度	H23	H24	H25	H26 (目標)
整備面積	2,040ha	2,352ha	2,808ha	3,408ha

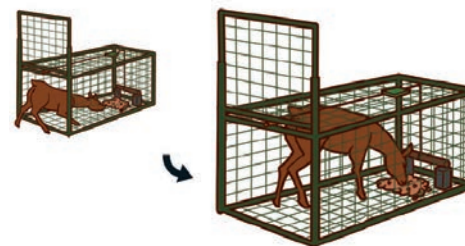
- イノシシ、アライグマ、クマ、サル、ヌートリアなどの野生動物の適正管理

- ▶▶▶外来生物の分布についてのアンケート調査を毎年度実施
- ▶▶▶アライグマ・ヌートリアの防除強化（毎年7,000頭捕獲）

年度	H23	H24	H25	H26 (目標)
捕獲頭数	4,292頭	4,369頭	7,000頭	7,000頭

- 絶滅危惧動物の保護管理の徹底

● シカの捕獲イメージ



● イノシシ防護柵（六甲山）



● シカ肉の試食意見交換会

